

大豆防除緊急情報

令和5年10月2日
J A 福岡大城
南筑後普及指導センター

1 ハスモンヨトウ対策

9月20日頃から、フェロモントラップへの成虫の飛び込みが激増し、白変葉が増加しています。今年は、残暑のため活動が活発であり、まだしばらく被害が続くと思われます。ハスモンヨトウが多いほ場や施設園芸品目の隣接田では防除を行いましょう。

2 カメムシ対策

吸汁性カメムシの発生は多めで、収量減並びに品質悪化が懸念されます。莢の若い時期から子実肥大期にかけて被害を及ぼします。移動性が高いので、地域で一斉防除を行いましょう。

【防除薬剤】

対象病害虫	農薬名	希釈倍率	10a 当たり 使用薬量/ 散布液量	使用回数	収穫前 日数
ハスモンヨトウ	プレオ フロアブル	(液剤体系) 1000~2000倍	50~100ml/100L	2回以内	収穫7日 前まで
		(無人航空機) 8~16倍	50~100ml/0.8L		
	プレバソン フロアブル5	(液剤体系) 4000倍	25ml/100L	2回以内	収穫7日 前まで
		(無人航空機) 16~32倍	25~50ml/0.8L		
カメムシ類	スタークル 顆粒水溶剤	(液剤体系) 2000倍	50ml/100L	2回以内	収穫7日 前まで
	スタークル 液剤10	(無人航空機) 8倍	100ml/0.8L		
	スミチオン乳剤	(液剤体系) 1000倍 (無人航空機) 8倍	100ml/100L 100ml/0.8L	4回以内	収穫21日 前まで
カメムシ類 ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	(液剤体系) 1000倍	100ml/100L	2回以内	収穫14日 前まで
	トレボンエアー	(無人航空機) 8倍	100ml/0.8L	2回以内	

※幼虫にしっかりかけるため、ゆっくり・じっくりかけるようにして下さい。

※使用回数および使用時期を十分確認したうえで散布してください。